

令和7年度秋のまちづくり懇談会内容

日 時： 令和7年11月8日(土)16:00～

場 所： 中里公民館

出席者： 6人

1 開 会

2 町長挨拶

3 懇 談

(1) 栗山町第7次総合計画～後期実施計画策定に向けて～資料①

(2) 主要施策の取組状況について 資料②

(3) 自由懇談

4 その他 別添資料

- ・くりやま暮らし応援電子商品券のご案内等・・・商工観光課より
- ・緊急告知 FM ラジオの企業・事業所配付について・・・総務課長より
- ・町営バス時刻表（説明なし）
- ・基盤整備状況及び地域開発構想図

5 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■若者支援について		
町 民	南幌町は補助金効果もありたくさん住宅が建っている。栗山町もそれを学んで若い人への支援策を立てたらどうか	
町 長	南幌町は住宅供給公社の土地販売の効果で人口が増加し、中でも日本人の増加率が高い。住宅支援策も効果的だったと思うが、Fビレッジやラピダスも波及して効果あったようだ。栗山町も新築住宅や中古住宅取得の助成はある。できる限りのことはやっているが、何か手を打っていかなければならない。生産年齢人口の減少を食い止めるまちづくりが求められている。第7次総合計画の後期計画策定に向けて考えたい。	
■デマンドバスについて		
町 民	バスの安全性を考えて何か自動安全装置のようなもの付けられないのか。	
町 長	デマンドバスのドライバーも高齢化していくので、バスのどのような装置が設置できるのか、それが必要なのか調査し、検討していきたい。	
■子育ての支援策について		
町 民	子どもの医療費などお金をかけているのはわかるが、その他に目に見える施策はあるか	
町 長	子育て支援で一番お金をかけているのは医療費。栗山町は他より早く医療費を無償にし、高校生まで広げて、要望により町外の医療機関も対象とした。その他に町は施設が充実している。スキップや児童センター、保育園と、子育てしやすい環境にある。それと、家庭センター設置の議論も初めている。給食費無償化など、	

	連携した施策をやっていきたい。第7次総合計画の後期計画策定に向け、皆さんにご意見をいただき、効果の検証もしていきたい。
■学校の特色や高校進学について	
町 民	東川町の小学校を見学したことがあり、通わせたいと思った。栗山町の学校はどんな特色あるのか。栗山高校は近いし通学にいいが、子どもが栗山高校に行きたいと言わない。女子野球部以外で特色がない。野球以外で次の一手はないのか。
教育長	栗山高校も含めた学校の特色は、産業教育、商業、農業、工業などがある。空知の高校は三笠高校以外定員割れしている。栗山高校には A ランクの生徒も町外から栗山高校の個別指導が良いと入学していて、これはスタディサプリの導入が要因。他校も入れているが、栗山高校はその指導をこなせる教員がいて全て入れられている。入れるだけでなく活用をしている。それと大学の推薦枠が空知で一番多い。東海大とは包括連携しているし、早稲田や明治とも協議しているところ。介護学校があるので福祉系の大学も強い。産業教育でいうと、介護福祉のカリキュラムができたが、それで生徒は増えない。小中高を含め ICT 活用、キャリア教育などもやっているのでアピールしていきたい。ただ、栗山高校はいろいろな学力レベルの子がいるが、岩見沢東高と同じレベルの子がいるという違いはある。
町 民	話を聞くと栗山高校も頑張っていてすごいのに、中学生には伝わっていない。
教育長	今後は小・中・高と地域と結びつくキャリア教育も大切。地元愛を強くしていきたい。
■ポジポカードの行政ポイントについて	
町 民	健診の場合のポイントは、どこでもらえるのか
商工観光課主幹	健診は基本的に住民保健課所管なので、後日一括で付与する。内容によってはすぐその場で付与できるケースもあるが、町外の健診等は、証明できるものをもって住民福祉課に行く必要がある。
■エフエムくりやまによる情報発信について	
町 民	ラジオの情報は、熊出没時は流れないのか。一度公園を閉めたと、人づてに聞いた。ラジオでも流れると良いと思う。
町 長	熊の情報はラジオの生放送の時にパーソナリティーが話した。緊急時に自動的に立ち上がるという方法では流していない。他の地域からも、いろいろな方法で情報発信して欲しいという意見もあったので、ラジオ以外の方法でも仕組みを作っていきたい。今年は、熊の痕跡などの情報が 20 数件、うち 10 頭は駆除された。猟友会など関係機関と連携して出動している。